

テレンスのごじょうめ日記 Terrence's Gojome Diary



Vol. 06 Frozen until Spring (春になるまで凍えます)

It's almost time for the school graduations of Gojome elementary and junior high school. This also means entrance exams and less club activities for the students. To the students, keep doing your best!

For me, I'm getting ready for my first International Day at Gochu. I am a bit nervous because I've never planned an event this big. I hope it goes well for everyone. Please look forward to it.

I have been lucky enough to not get sick this month. I know there was a spread of influenza for a week in the school, but I hope the best health for everyone in this important time.

町の小中学校ではもうすぐ卒業の季節を迎えます。生徒たちの中には、入学試験を控え部活動にあまり参加できない人が多いかと思えます。生徒の皆さん、全力を尽くしてください!

私はというと、五城目第一中学校での初めてのインターナショナルデイを控えています。このような大きいイベントに参加したことが無いので少し不安ですが、皆さんのために頑張りますので、楽しみにしてください。

幸い、今月は何の病気にもかかりませんでした。小中学校でインフルエンザがとても流行していますが、みなさんにとっては大事な時期です。みなさんがいつも元気でいられるよう願っています。



◆本名:テレンス・ジェームズ・サンチェス、誕生日は3月7日◆出身地:アメリカ合衆国カリフォルニア州サンノゼ◆昨年の8月から町の英語指導助手(ALT)に着任。趣味はスケートボード、筋力トレーニング、バスケットボールの試合観戦など。最近の好きな映画作品は「アクアマン」



みなさんが合格できるように願っています。フアイト!



「スクールトーク」を開催します

町では、五城目小学校改築事業のワークショップ「スクールトーク」を開催します。

新しい小学校のイメージを共有したり、もっと知りたいという方々の参加をお待ちしています。

みんなで創ろう! 「学校」と「まち」が出会う地域図書室

地域図書室を核とした地域に開かれたエリアをどう活用し、学びの環境をより豊かにできるかというテーマについて、本をきっかけに人とのつながりを生み出す「まちライブラリー」創設者の磯井純充さんと友廣裕一さんをお招きし、講演会を

開催します。
後半は町民参加のワークショップを行います。
▶日時 3月10日(日) 午後1時30分~午後5時
▶会場 町民センター4階
▶内容 講演会、ワークショップ

お問い合わせ 町教育委員会学校教育課 (☎852・5372)

メイド・イン・五城目

金子美和(紀久栄町出身)

胡馬北風。昨年末、壁掛けカレンダーに登場した四字熟語だ。意味は「ふるさとを懐かしむこと。故郷が忘れられないこと」とある。なんだか他人事には思えなくて、今でも見える所に置いたまま。五城目を離れてもうじき35年になるが、職業人としての体裁は整っていても、家に帰れば猫を相手に「ごじよめのごぼっこ」で話す毎日で、全くもって都会人には程遠い。それどころか、五感や忍耐力など、自分を構成している全てが「メイド・イン・五城目(五城目製)」のままだから、寧ろそんな自分が誇らしくさえ思う。小学生時代、友人らと一緒に給食に出た半切りの八朔を食べずにとっておき、放課後、グラウンドの裏から高台に登って、町を見下ろし一房ずつ頬張る。酸っぱさで顔がくしゃくしゃになりながら、夢を語りつ。時には町に向かっ叫んでみる。頬にあたる風が清々しい。私の原点はずっとそこにあると思ってる。何でも乗り越えられそうな気がするのだ。



写真はアメリカ大使館での独立記念日パーティにて

調和、伝統の継承と変化への挑戦、「昔は良かった」ではなく、「昔も今も、そしてこれからもいい町」と呼べる故郷であるために、遅巻きながら少しずつ五城目に関わって行こうと、近年頻りに帰省したお陰で思うようになった。また、長らくアメリカ産農産物のマーケティングに関わってきたことから、実は彼らは原産地に対して強いこだわりを持つことや、世代交代の上手さ、変革に対するパランスの良さ、情報発信の巧みさなどを現在進行形で体験している事も、私の中の「メイド・イン・五城目」を後押ししてくれている。 There's no place like home | 我が家に勝る所なし。物理的には離れていても、精神的には隣人だ。帰る場所、心の拠り所があるというのは、実に幸せなことである。

ごじょうめの文芸

- 「短歌」
- うつすらと黄なる寒天春の色
白い皿との見事なマツチ
八郎潟町 加澤 英子
今日もまた途切れ途切れに雪が舞い
雲去りし後また陽のどどく
大川 工藤 誠子
条幅の三分の一に筆に墨
たつぷりつけて一気に「春」書く
古川町 小濱 キエ
昨日よりややに川水増して見ゆ
春立つらしも日和はつづく
館越 斎藤 諒一
- 「俳句」
- 鳥帰る山河に礼し啼き交はず
知町 本間 恵子
就活を終へた孫の目や冬銀河
高千 小玉 悦
煮凝は婆の十八番よくりかえし
昭辰町 本間 富子
北風や耳たぶ赤く女学生
高崎 館岡 絢
- 「川柳」
- なまはげの力借りたい年の暮れ
八郎潟町 小柳 文子
突然の来客飯面つけ忘れ
長町 平川のぶ子
真冬日がつづくが神にすがらない
古川町 柴田 銀河
好奇心抱いて長寿の坂上る
館越 細田 陽炎

- 次はキミの番かもしれない...本当に怖いスマホの話/遠藤美季
 - 生まれたときからせつない動物図鑑 /フルック・パーカー
 - ひなまつりにおひなさまをかざるわけ /瀬尾七重、岡本順
 - 大家さんと僕/矢部太郎
 - 給食アンサンブル /如月かずさ
 - 未来職安/柞刈湯葉
- ※ 新刊については、町ホームページにも掲載しています。
※ 町民センター2階図書室は、午後7時まで利用できます。
※ 問い合わせ先
中央公民館(☎852・4411)

